

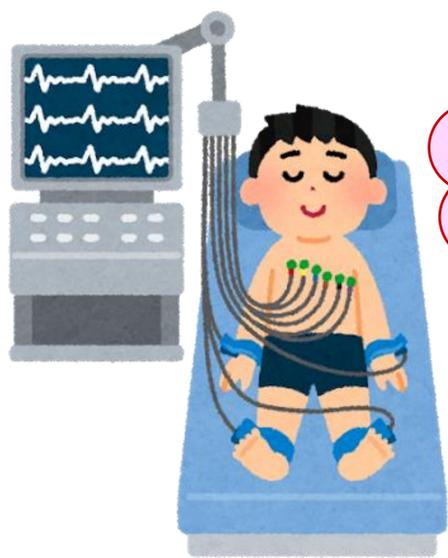
# 生理機能検査室の医療安全への取り組み

生理機能検査室では、臨床検査技師が心電図、呼吸機能、超音波、脳波などの検査を行っています。いつ・どこで行っても正確な結果を報告するための取り組みの一例をご紹介します。

## 心電図検査

### ①機械の毎日のメンテナンス

毎朝検査が始まる前に、機械に異常がないかを確認をしています。



胸の電極の位置は同じかな？

### ②技術レベル研修

心電図の検査を行う検査技師全員が同じ模擬患者を同じ機械で検査して、同じ結果になるかを確認しています。

#### 技師Aさん



模擬患者

#### 技師Bさん

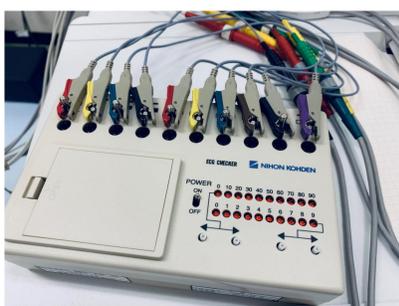


模擬患者

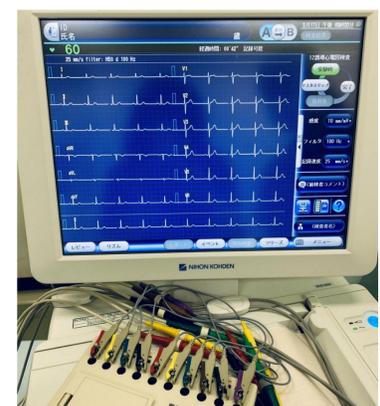
同様な結果

### ③機械間での差がないかの確認

ECGチェッカーを用いて、すべての心電計で同じ結果が出るかを確認しています。



ECGチェッカー  
心電計につなぐと、  
疑似心電図を発生します。



## 呼吸機能検査

息を吸ったり吐いたりして、肺活量など肺の機能を評価する検査です。



シリンジを押したり引いたりして人の呼吸を真似して検査します。

機器の精度管理として毎朝、専用のシリンジを用いて規定量であるか確認しています。



他にも、全ての検査において正しい結果を提供できるように、毎日様々な確認作業を行っています。これからも、生理機能検査室の医療安全への取り組みを継続していきたいと思えます。